

財団法人日本バレーボール協会 第 208 回理事会 議事録

日 時：平成 22 年 5 月 28 日(金) 14：00～16：00

会 場：日本青年館 5 階 503 会議室（東京・渋谷区）

出席者：立木会長、中野副会長、梅野・岩満・萩原・成田・下山・不老・倉橋
西川・紺屋各理事

【委 任】 山根・山岸・竹内・三屋・ゼッターランド・岩井・清水・小場・森田・
残間・河合・大塚・小島各理事

【監 事】 岡崎・高橋各監事

欠席者：中島各理事

陪席者：五十嵐・三浦・小田桐・斎藤・谷地・中野・江原・平澤・鈴木・藤野(事務局)

理事現在数 25 名、うち出席 11 名、委任 13 名、欠席 1 名、計 25 名で寄附行為第 28 条に基づき理事会が成立。議事録署名人に岩満一臣理事、西川友之理事を指名。議事の前に、立木会長より FIVB 理事会、AVC 理事会の会議報告があり、岩満事務局長より本年度採用した 2 名の新入職員(鈴木克宜、藤野隆弘)の紹介があった。

14 時 00 分、立木会長を議長に議事に入る。

<審議事項>

1. 法人移行に伴う“定款の変更の案”の一部修正について

(立木会長) 説明。

法人移行に伴う定款の変更の案について、1 月 29 日開催の第 205 回理事会において理事各位の合意をいただいたが、その後修正、追加の必要が生じたので、本理事会で定款案の一部修正についてご審議願いたい。

※定款変更案の詳細については、資料に記載の通り。

第 205 回理事会合意案である第 8 章の「名誉顧問」の各条項については修正を行わず、費用に関する条項のみを加えるという再提案があった。

(岩満理事・事務局長) 説明。

本議案については、欠席理事から議決権行使に関する回答書をいただいている。欠席理事 13 名の内、賛成 11 名、反対 1 名、棄権 1 名。回答書で賛成の意思表示された 11 名に加え、出席理事の異議が無ければ承認されたものとしたい。

以上のとおり資料に基づき趣旨説明があり、理事会は第1号議案「法人移行に伴う“定款の変更の案”の一部修正について」諮り、出席理事の賛成11名、議決権行使書提出者の賛成11名、反対1名、棄権1名により承認可決。

2. 理事会から推薦する最初の評議員候補者選出について

(立木会長)説明。

法人移行に伴い、最初の評議員を選任する必要がある。選任に関しては文部科学省の認可を受けた方法で作業を進めているが、理事会から推薦する候補者についてご審議いただきたい。

(岩満理事・事務局長)説明。

「最初の評議員の選任方法」第4条に、「評議員選定委員会に提出する評議員候補者は、理事会または現寄附行為上の評議員がそれぞれ推薦することができる」と定められている。評議員会として推薦する候補者は資料(別紙参照)のようになったが、これを踏まえ理事会からの候補者を選出したい。なお、既にご案内申し上げているが、評議員選定委員会メンバーは、外部委員として森末、岡野両委員、高坂現評議員、岡崎現監事、五十嵐事務局員の5委員。評議員選定委員会は6月16日(水)に開催予定。

(立木会長)説明。

清水雅彦、萩原秀雄、山根武、成田明彦、河合信行、梅野實、不老浩二、西川友之各理事の8名を推薦したい。この8名に加えアスリートを含めたあと数名の方の追加を考慮している。この追加についてはご一任いただきたい。

(岩満理事・事務局長)説明。

本議案については、欠席理事から議決権行使に関する回答書をいただいている。欠席理事13名の内、賛成12名、棄権1名。回答書で賛成の意思表示された12名に加え、出席理事の異議が無ければ承認されたものとする。

以上の通り資料に基づき趣旨説明があり、理事会は第2号議案「理事会から推薦する最初の評議員候補者選出について」清水雅彦、萩原秀雄、山根武、成田明彦、河合信行、梅野實、不老浩二、西川友之各理事を理事会から推薦する評議員候補者とする事、及び今後追加予定の候補者数名については立木会長に一任することについて諮り、出席理事の賛成11名、議決権行使書提出者の賛成12名、棄権1名により異議なく承認可決。

3. 強化事業本部及び国内事業本部委員会委員の追加について

(成田理事・強化事業本部長)資料により説明。

強化事業本部・一貫指導委員会委員に安藤祐枝氏、大竹秀之氏、北原勉氏の3名を追加いたしたく、ご了承いただきたい。

(萩原理事・国内事業本部長) 資料により説明。

国内事業本部・指導普及委員会に城成人氏、吉井祐二氏の2名を、国内事業本部が担当するU-14事業として一貫指導委員会に相澤修氏、杉浦崇史氏の2名を追加いたしたく、ご了承いただきたい。

<報告事項>

1. 平成21年度決算見込みについて

(岩満理事・業務推進事業本部長) 説明。

決算業務はほぼ終わりつつあるが、本日現在の状況は資料にお示ししたとおりである。

最終的には多少の変動があるかもしれないが、決算見込みという前提でご一覽いただきたい。

収入は予算額23億7,378万円に対して23億1,974万円で5,404万の減、支出は予算額23億7,378万円に対して、22億3,462万円で1億3,916万円減、差し引き8,512万円ほどの黒字を現時点で見込んでいる。

今後の進行予定として、5月末までに最終決算をまとめ、6月上旬の監査法人による外部監査、および6月中旬の執行役員会による審議を経て評議員会に諮問、そして理事会で承認可決する方向を考慮している。

※詳細は資料に記載の通り。

以上で全議事を終了、16時00分閉会。